

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 1 日 (2007.11.1)

【公開番号】特開 2006-110729 (P2006-110729A)
 【公開日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-017
 【出願番号】特願 2004-297241 (P2004-297241)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/44 (2006.01)
B 4 1 J 2/45 (2006.01)
B 4 1 J 2/455 (2006.01)
G 0 2 B 13/00 (2006.01)
H 0 4 N 1/036 (2006.01)
H 0 5 B 33/02 (2006.01)
H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/21 L
 G 0 2 B 13/00
 H 0 4 N 1/036 A
 H 0 5 B 33/02
 H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 9 月 18 日 (2007.9.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【発明の名称】露光ヘッド及びそれを用いた画像形成装置
 【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

基板と、

前記基板に複数配された発光素子と、
前記基板に配された色収差補正レンズと、
屈折率分布型ロッドレンズを複数配したロッドレンズアレイと、
を有することを特徴とする露光ヘッド。

【請求項 2】

前記色収差補正レンズは、前記発光素子が配された前記基板面の反対面上に配されることを特徴とする請求項 1 に記載の露光ヘッド。

【請求項 3】

前記色収差補正レンズは、前記基板面に形成された穴部に配された凸レンズであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の露光ヘッド。

【請求項 4】

前記色収差補正レンズは、凹レンズである第１のレンズと、凸レンズである第２のレンズとにより構成されることを特徴とする請求項１ないし３のいずれか１つに記載の露光ヘッド。

【請求項５】

前記発光素子が、陰極と、発光層と、正孔注入層と、透明電極と、隔壁とを有する有機ＥＬ発光素子であることを特徴とする請求項１ないし４のいずれか１つに記載の露光ヘッド。

【請求項６】

感光体と、

帯電手段と、

基板と、前記基板に複数配された発光素子と、前記基板に配された色収差補正レンズと、屈折率分布型ロッドレンズを複数配したロッドレンズアレイと、を有する露光ヘッドと

現像装置と、

を有することを特徴とする画像形成装置。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

本発明は、有機ＥＬ発光素子アレイからの発光を結像光学系により感光体上に露光する露光ヘッドとそれを用いた画像形成装置に関する。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

発明は、前記従来技術のもつ課題を解決した、簡単な構成で、有機ＥＬ発光素子の波長分布により生じるスポット径の増大化を防止し、画質の良い有機ＥＬ発光素子ラインヘッドからなる露光ヘッドとそれを用いた画像形成装置を提供することを目的とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

前記課題を解決するために、請求項１に記載の露光ヘッドは、基板と、前記基板に複数配された発光素子と、前記基板に配された色収差補正レンズと、屈折率分布型ロッドレンズを複数配したロッドレンズアレイと、を有することを特徴とし、請求項２に記載の発明は、請求項１の露光ヘッドにおいて、前記色収差補正レンズは、前記発光素子が配された前記基板面の反対面上に配されることを特徴とし、請求項３に記載の発明は、請求項１又は２の露光ヘッドにおいて、前記色収差補正レンズは、前記基板面に形成された穴部に配された凸レンズであることを特徴とし、請求項４に記載の発明は、請求項１～３のいずれか１つの露光ヘッドにおいて、前記色収差補正レンズは、凹レンズである第１のレンズと、凸レンズである第２のレンズとにより構成されることを特徴とし、請求項５に記載の発明は、請求項１～４のいずれか１つの露光ヘッドにおいて、前記発光素子が、陰極と、発光層と、正孔注入層と、透明電極と、隔壁とを有する有機ＥＬ発光素子であることを特徴とし、請求項６に記載の発明は、画像形成装置において、感光体と、帯電手段と、基板と

、前記基板に複数配された発光素子と、前記基板に配された色収差補正レンズと、屈折率分布型ロッドレンズを複数配したロッドレンズアレイと、を有する露光ヘッドと、現像装置と、を有することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

【図 1】本発明の露光ヘッドの実施形態を示す図である。

【図 2】本発明の露光ヘッドの実施形態を示す図である。

【図 3】本発明の露光ヘッドの実施形態を示す図である。

【図 4】本発明の露光ヘッドの実施形態を示す図である。

【図 5】本発明の画像形成装置の実施形態を示す図である。

【図 6】従来技術を示す図である。

【図 7】従来技術を示す図である。